

高齢者総合福祉施設 風早の家

令和 4 年度 第 3 回運営推進会議 議事録

開催日時	令和 4 年 9 月 29 日 (木)
開催場所	高齢者総合福祉施設 風早の家 なないろカフェ
出席者	【ご利用者】 0 名
	【家族代表】 徳永近義氏 (特別養護老人ホーム 風早の家 1 名) 玉井俊幸氏 (小規模多機能にじいろ 1 名)
	【地域包括センター 北条】 程内 優氏 1 名
	【松山市役所 介護保険課】 0 名
	【評議員】 田村光子氏 1 名 【法人理事】 小林厚子氏 1 名
	【地域の方】 豊田克文氏(菟木地区町内会長) 濱元昭子氏 (民生児童委員) 永井利八氏 (高縄団地 区長)
【事業所】 (施設長) 近藤 浩之 (風早の家) 中川 邦彦・仲渡 博美・梅田 愛 (かしま) 中山 幸恵・宮内 大輝 (にじいろ) 徳永 睦美	
配布資料	あり

高齢者総合福祉施設 風早の家 全体会

開会あいさつ (施設長 近藤浩之)	<p>足元の悪い中、ご参加頂きありがとうございます。</p> <p>7月に続き今回も、レジメに沿って会議をすすめて参りたいと思います。</p> <p>今回は新たに3名、初参加の方がおられますので、それぞれ自己紹介をお願い致します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・永井 利八氏 (高縄団地 区長) ・玉井 俊幸氏 (小規模多機能にじいろ 家族代表) ・宮内 大輝 (デイサービスかしま 生活相談員)
----------------------	--

特別養護老人ホーム 風早の家

(地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護) 運営推進会議

事業所からの
状況・活動報告

<利用状況>

○特養 風早の家

入所者数 26名 (定員29名 : 9/26 1名入所)
(9/28 1名入所)

男性 6名・女性 20名

(要介護度) 介護3 : 7名
介護4 : 12名
介護5 : 7名

○ショートステイすぼき

・受入地区 : 苞木・鹿峰・小川・磯河内・光洋台・柳原・夏目
河野別府・高田・正岡神田・八反地・中西内
北条・北条辻・下難波・堀江町・山越・吉藤・
東長戸・古三津・立花・菊間町

(要介護度) 支援1 : 0名
支援2 : 1名
介護1 : 4名
介護2 : 4名
介護3 : 5名
介護4 : 3名
介護5 : 5名

・障害区分(共生型利用者) … 区分3 1名
区分4 1名

・稼働率 : 8月 75.2% (平均利用者数 : 7名)
9月 69.5% (平均利用者数 : 6名)

<活動報告>

【特養風早の家・ショートステイすぼき】

新型コロナウイルス感染予防対策として、マスク、手洗い、うがい、消毒等、職員各々継続して実施しておりましたが、8月末に職員が新型コロナウイルス陽性が判明し、接触のあった利用者様と職員に対し抗原検査を定期的に行い経過観察しておりました。

9月初めにすぼき利用者様と職員に陽性反応が出たことにより、急遽ショートステイの出入りを中止してゾーニングを行い、ご家族の面会を

制限し、利用者様と関係職員の定期的な抗原検査継続を行い、二次感染予防に努めました。

幸いな事に、それ以降コロナ感染者は出現せず、9月13日定期的な抗原検査終了とし、その後、面会の再開、ショートステイ受け入れ開始となりました。

コロナ感染者急増に伴い、いつ誰が感染してもおかしくない状況の中での感染ではありましたが、受け入れを中止していた間、利用者様と面会ができずご心配おかけしたご家族様や、ショートステイを利用する事ができず困られた利用者様、ご家族様、居宅ケアマネの方には、本当にご迷惑おかけし申し訳ない思いでいっぱいです。

今後もより一層感染予防対策を徹底し、できるだけ多くの方々に安全に利用して頂けるよう配慮していきたいと思います。

コロナ感染予防のため外出もままならない時期ではありますが、利用者様やご家族の要望があれば、感染対策を取りつつ可能な範囲で個別での支援を行っております。

○娘と一緒に、独居だった自宅へ行き服を持って帰りたい

○今は息子が跡を継いでいる稲田の様子を見に行きたい

○失くしてしまった母の通帳の銀行印変更手続きに行きたい

等支援し、色々なエピソードを交えながら、利用者様とご家族が自然な形でほのぼのと触れ合う場面を多く見る事ができました。

また、

○月誕生日にビールとじゃこ天を食べたい

との願いは時々職員がうっかりしてしまう事がありますが、継続中です。

○自分が生まれ育った島を対岸から眺めたい

との希望を持っておられる利用者様もおられるので、現在担当職員と検討中です。

先日敬老の日を迎え、特養すばきの利用者様には今後もお元気に過ごして頂きたく、ささやかではありますが、小さな願いを込めて贈り物をさせて頂く予定です。

※事例の詳細を口頭で説明

■ 質疑応答・意見

(豊田氏)

自分が長年携わってきた田んぼに育った稲をみたい・・・利用者さんにとってすごく大切なこと。これからもぜひ、ひとりひとりの願いを聞き取って、実現させてください。

(玉井氏)

(利用者様がユニットでカイワレ大根を育てている写真をみられ) 植物、生きているものの世話は手間がかかるが、人間が生きること、命のつながりを感じられる。今後も、うまく生かして活動を継続してほしい。利用者

の願いを、どんどん叶えてほしい。

(田村氏)

(かなさんどうでの松本隆博氏のライブの写真をみられ) 松本さんが来られているんですね。驚きました。

【共生型ショートステイすぼき】

8月・9月に続いて利用相談があり、積極的にお受け入れをすすめております。

利用期間が長期にわたる場合は、かなさんどうショートステイとショートステイすぼき双方でお受け入れ可能な日を照らし合わせ、法人内で利用が完結できるよう調整を図り、利用期間中に大きく生活の場所が変わることでの利用者様の心身の負担を軽減し、日々の支援がその方の要望に沿った内容に近づくよう、事業所間で利用者様の情報共有や連携をとり、常に対応しています。

今後も『障がいサービス』『介護サービス』両方を兼ね備えている法人の強みを最大限に生かせるよう努めてまいります。

また、共生型サービスの利用者様をお受け入れることで、介護サービスと違うところ(障がいサービスの制度面など)を職員が日々の支援の中で学ぶことができ、専門職としての知識の幅も広がります。

利用者様の年齢も、40代～60代前半と、介護施設では関わる機会の少ない若年層の方であり、高齢の方との生活様式の違いなど、支援させて頂く中で改めて様々なことを学ばせて頂いています。

例えば・・・

40代の利用者様(精神障がい)

グループホームの入居待ちのため約1か月半、共生型サービス利用中。利用中に就労サービスの利用を開始し、平日は朝に施設を出発して就労サービス(軽作業)を利用。夕方ショートステイへ戻り食事・入浴を済ませ翌日に備えます。

週末はマイペースでゆっくり過ごされ、心身を休めておられます。

障がいサービスではショートステイ利用中に他の事業所のサービスを受けることができますが、介護サービスでは制度上できません。このような日常の支援の流れも、私たちは利用者様をお受け入れることで学ぶことができます。

今後も引き続き、共生型サービスの利用者様も積極的にお受け入れし、障がい・介護 すべての利用者様それぞれの『当たり前の生活』を支援してまいります。

■ 質疑応答・意見

<ミャンマー実習生について>

- 実習開始2か月が経過しました。
- ニンさん 食事介助・排泄介助などは単独で可能。服薬介助は職員が確認。入浴介助は個浴・特浴とも、今から頑張っていきます！
- ピョーさん 食事介助・排泄介助などは単独で可能。入浴介助も職員指導のもと、熱心に取り組んでいます。
- 介護記録やパソコン入力については、今後取り組んでいきます。
- 職員が伝えた日本語（商品名など）が実習生に上手く伝わらないなど、配慮が必要なこともあります。利用者様や職員とのコミュニケーション自体は問題ありません。
- 日本語教室も月2回行い、2人とも来年の日本語検定試験に向け勉強中です。先輩のゾーさん・サンダーさんは今年12月に受験予定です。2人とも、ミャンマー実習生の先輩と同様、利用者様との関わりの中で、一生懸命様々なことを学んでいます。

（田村氏）

介護保険のない人でも、障がいサービスは利用できるのでしょうか？
私も、もう他人事ではないので・・

（近藤施設長）

田村さんのような方の場合は、介護が必要となった時には、介護保険を申請されると良いと思います。かかりつけの病院の先生にご相談しながら対応されると良いと思います。

（豊田氏）

「日本語検定」とはどのようなものですか？

（近藤施設長）

日本語をどのくらい理解し使えるかの判断基準となる試験で、介護現場で働く技能実習生はN4（4級）以上でないと実習を行うことができません。実習生は基本的に皆、この資格を持っています。

デイサービス かしま（地域密着型通所介護） 運営推進会議

事業所からの
状況・活動報告

<利用状況> ※9月27日現在

1日の利用定員：18名
利用者登録者数：支援 14名 介護 27名
男女比：男性 15名 女性 29名
年齢構成：（最高年齢）101歳 ～（最低年齢）67歳
要介護度：要支援1－ 6名
 要支援2－ 7名
 要介護1－ 11名
 要介護2－ 3名
 要介護3－ 7名
 要介護4－ 2名
 要介護5－ 3名

<その他利用者様の動き>

8月新規利用者様 … 1名
9月新規利用者様 … 3名（新規申請中）
9月体験利用者様 … 1名（9/27 契約）
入院中 … 5名
利用終了（他施設入所・他界）… 6名

<日中活動>

●8月・9月はご利用者様・職員のコロナ感染が続き、デイサービスが臨時休業になる、ご利用者様には利用ごとに抗原検査を受けていただくなどご迷惑をお掛けしました。

ご利用者の中にはしばらく利用を自粛される方もおられました。久しぶりにご利用されると認知症の症状が進んでいる方、入浴できなかったことで皮膚の状態が悪化している方、足の筋力が低下している方などいろいろな変化がありました。

皆様が在宅生活を元気に少しでも長く送るためのデイサービスとは？入浴・レクリエーション活動・食事・健康状態の把握そして家族・ケアマネージャーとの連携がどのようにその方を支えているのか改めて考えました。

少しずつ県内の感染者数が減少傾向にはありますが、引き続き感染予防の徹底と利用者様・職員の体調管理をしっかりと行い、デイサービスでの支援を止めることなく行っていかなければいけないと痛感し、

職員一同で頑張っていこうと思います。

●最近の支援の具体例…

要介護 5 99歳 女性 娘さんと2人で自宅で生活されており、週1回のデイサービス利用。他、ヘルパー利用。

9/21 デイサービス利用、朝の送迎の際に送り出しのヘルパーより、本人様の状態(覚醒状態等)の変化について報告があり、利用中は食事摂取や入浴等、本人様の負担にならないよう、無理のない範囲で実施し、その時の様子を娘さん・担当ケアマネージャーへ報告しました。その後9/24朝、自宅で急変され、夕方に自宅で息を引き取られたとのこと。

… 本人様・娘さんの希望であった「最期まで自宅で生活したい」というご希望に沿う形での支援が行えたことに感謝でいっぱいです。

●新規利用者様・ご家族様・ご紹介いただいたケアマネージャー様へはデイサービスかしまを選んでいただき大変感謝しております。利用者様お一人お一人のニーズをしっかりと把握し、デイサービスを利用してよかった、以前より元気になってきたとあっていただけるよう、日々ご利用者様に対しての気づきや支援方法の意見交換をして、職員全員で同じ方向に向かって支援を行っていきたいと思います。

●レクリエーション活動

引き続き活動中はマスクの着用や道具を共有する時には手洗い・消毒、席移動をせずに行えるレクリエーションを新しく取り入れるようにしました。例えば葉書サイズの紙に文字を一文字ずつ書き、バラバラにした状態から一つの文字を作る、紙コップを積み上げてタワーにするゲームなどが皆様から好評でした。

その後【文字並べ替えゲーム】を、参加者全員で行いました)

(小林氏)

【文字並べ替えゲーム】の答えから話題を拡げ、人生の大先輩である利用者様から教を乞うことはとても良いことだと思う。ぜひ実践を。

(玉井氏)

認知症の支援に【回想法】がある。話題を拡げたり、テーマを考える際には、利用者の生活歴や職業に基づいたものにするとう良いと思う。

(豊田氏)

ホワイトボードに紙を貼ったりする際は、磁石で1枚1枚貼りつけるより、紙の後ろに磁石を貼り付けておくと、より効率が良いです。

■質疑応答・意見

小規模多機能 にじいろ（小規模多機能型居宅介護） 運営推進会議

事業所からの
状況・活動報告

<利用状況>

9月登録者数： 9名（男性 4名・女性 5名）

要支援1 - 1名

要支援2 - 2名

要介護1 - 1名

要介護2 - 2名

要介護3 - 2名

要介護4 - 0名

要介護5 - 1名

<ご利用者様への支援状況>

●退院後の支援の事例の紹介

Y様

要介護3 長男様と同居。脳出血、高次脳機能障害、左麻痺、嚥下障害、発語障害があり入院中、地域連携室より相談あり。

- ・自宅で過ごしたい。
- ・歯医者に行き義歯を作る。
- ・リハビリをして好きなものを食べたい。
- ・はっきりと話せるようになりたい。

病院やご家族は誤嚥しないように食べ物や飲み物にトロミをつける。ベッドと歩行器をレンタル。住宅改修でトイレに手すりを付ける。退院後2週間は連泊、その後、毎日の通いで安全に生活できるよう支援することとした。

自宅に帰った翌日は、通い利用。次の日は休まれた。ご本人様・ご家族とご相談。とにかく自宅でゆっくりと過ごしたいとの希望であった。

歯医者さんに診てもらうにはにじいろに通うこと。訪問リハビリの手続き、手すりを付けることを具体的に説明。通い来ていただけるようになった。何度も話し合いや変更を重ねて、隣に住むご姉弟が協力してくださることとなり、送り迎えや食事の時のトロミや薬の管理もお願いできた。

ご利用開始より約1か月。

現在は週に4日の通い、自分の好きなものを早く食べたいと、歯科往診、訪問リハビリを熱心に取り組まれている。玄関、トイレ、浴室、台所の勝手口に手すりをとりつけ予定。筋力は退院時よりついてきて、以前使っていたベッド使用、レンタルのベッドは返却した。

■ 質疑応答・意見

N様

要支援2 独居。脳梗塞、左麻痺、高次脳機能障害で入院中。
居宅支援事業所の以前担当していたケアマネより、小規模多機能を使用するのが適しているのではないかと相談。

- ・ 自宅で生活したい。
- ・ 退院前は元の生活ができる。
- ・ 次第に左手がまだ上手く使えない。せつかくここまでよくなったからリハビリをして状態を維持したい。
- ・ 買い物に連れて行ってほしい。

松山に在住の妹様はできるだけ協力はするが時間がかかる。
気難しい性格。

退院後2泊3日の約束のみ取り付けた。

その後のことは、利用中に話し合いで決めることとなった。

気難しい性格とのことであったが泊りのご利用中、ご利用者や職員を集めて皆で楽しんだ。

緊張がほぐれ今後のこととお話する。

一人暮らしなので何かあったら助けてもらいたい。

自宅で作業療法士による訪問リハビリ。

毎日の訪問で曜日ごとに図書館、買い物や家事、薬カレンダーをすることにした。

ご利用開始より約1か月半。

現在は、毎日の買い物の必要はない。休みを作って友達と会う。ほかの用事をしたい。

週4回の訪問（図書館、買い物、家事、薬カレンダーに薬を入れる。道具を使用した手指の運動など）に変更。

週1回の作業療法士による訪問リハビリを行っている。

スタッフに得意なクイズを出題するなど楽しみながら過ごされている。

また、次回会議では、9月17日に自宅で看取り介護で逝去されたご利用者様の事例をお伝えする予定。

（玉井氏）

妻はにじいろ利用前に、グループホームを利用していた。妻は「帰りたい」と言い、僕もさみしかった。その後相談して、にじいろにお世話になっている。

グループホームは、施設の考えが入るところがあるが、にじいろは、家族の考えに合わせてくれる。妻も「学校（にじいろ）には行かないといけない」と、喜んで通っている。スタッフも皆、優しい。

認知症の対応で大切なのは、声掛けだと思う。症状の進行は仕方がないが・・・

■その他 全体質疑応答

(豊田氏)

今回の会議の内容(具体的な支援例)を、地域の方たちがもっと知ることが大事だと思う。『施設でこんなことができるんだ』と地域に発信するべきだと思う。介護者も息抜きが必要…。

(包括 程内氏)

いろいろな施設の運営推進会議に参加していますが、風早の家の会議は活発に意見が出て良いですね。包括支援センターでも、認知症の方の介護を行っているご家族を対象に【認知症家族交流会】を定期的を開催しています。ぜひご参加ください。

(永井氏)

初めての参加で分からないこともありました。これから勉強していきます。よろしくお願いします。

(徳永氏)

弟が特養入所しており、農業をしていた弟は『〇〇の時期で、〇〇せないかん』と、時期の作物や農作業の内容など、すごく気にしている。

面会が出来れば、そのたびに畑の様子をこまめに伝えることができ、弟も安心すると思うが、いまは難しい。

今頃は、画面を使った面会もあると聞くが、何か、直接利用者とやりとりができるような面会の仕方ができればありがたい。

■近藤施設長

1時間の予定を超過しましたが、活発な意見交換ができました。ありがとうございます。

早速、今から取り組まないといけない内容もあります。ぜひ参考にさせていただきます。

次回、11月は、より施設での支援を知って頂けるよう、動画も使いながら報告をさせていただきたいと思います。

本日はお忙しい中、ご参加頂きありがとうございました。

□次回、開催予定について

令和 4年 11月 24日(木)

詳細は、お送りする次月の案内文書を参照して下さい。